



目次

ヒマラヤの東 中村保 / 表紙絵・熊谷榎
 クライミングの安全 宮崎守弘
 フォトエッセイ・嶋和夫 / 山のギャラリー尾瀬・豊田幸長
 改正保険業法への対応は 斉藤義孝
 いま改正保険業法を考える
 2006年クリーンハイクアピール
 全国副会長が語る 洞井孝雄
 全国連盟理事となって
 不思議を発見する山歩き 小泉武栄
 気象情報の見方と使い方 野尻英一
 海外の登山を読む 海津正彦
 アイスクライミング交流会 吉野和記
 JWAFクリック / 専門委員会報告 / 全国連盟の活動 / 事務局から
 地元会員特選ミニガイド 新潟 / 岡山
 インタビュー・和久井正明さん / ブックエンド / お勧め山道具
 今月の人と山「加藤喜一郎」・西本武志 / 会報閲覧室

県連のスケジュール

5月		6月		7月	
1 月		1 木		1 土	リーダー学校机上
2 火		2 金		2 日	救助隊トレーニング リーダー学校補講
3 水		3 土		3 月	常任理事会
4 木		4 日		4 火	救助隊会議
5 金		5 月	常任理事会	5 水	
6 土		6 火	救助隊会議	6 木	ハイキング机上
7 日	リーダ学校補講	7 水		7 金	
8 月	常任理事会	8 木	ハイキング机上	8 土	
9 火	事務局長会議	9 金		9 日	
10 水		10 土	リーダー学校 机上	10 月	遭対部会
11 木	ハイキング学校机上 遭対部会	11 日	リーダー学校 実技	11 火	事務局長会議
12 金		12 月	遭対部会	12 水	
13 土		13 火	事務局長会議	13 木	
14 日		14 水		14 金	
15 月	クリーンハイク実行委第5回 事務局部会	15 木		15 土	
16 火		16 金		16 日	
17 水		17 土	ハイキング実技	17 月	
18 木		18 日	ハイキング実技	18 火	事務局部会
19 金		19 月	事務局部会	19 水	
20 土	リーダ学校机上	20 火		20 木	
21 日	リーダ学校実技 ハイキングリーダ学校実技	21 水		21 金	
22 月	クリーンハイク最終打合せ	22 木		22 土	リーダー学校 机上
23 火		23 金		23 日	リーダー学校 実技
24 水		24 土	遭対部講習会 読図(机上)	24 月	
25 木	教育部会	25 日	遭対部講習会 読図(実技)	25 火	
26 金		26 月	自然保護委員会	26 水	
27 土	クリーンハイク前夜祭水質検	27 火		27 木	
28 日	2006クリーンハイク	28 水		28 金	
29 月	自然保護委員会	29 木		29 土	
30 火		30 金		30 日	
31 水				31 月	自然保護委員会

連盟ニュース
256

神奈川 5

2006.5.9



三枝木さん(横浜HC)撮影



事故のない登山を目指して
 神奈川県勤労者山岳連盟組織
 詳細決定！ 道迷い遭難を防ぐ講習会
 2006クリーンハイク会員用募集要項
 クリーンハイク実行委員会第4回議事録
 神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定
 事務局長会議報告
 県連のスケジュール

遭難対策部 2
 事務局 4
 遭難対策部 7
 5
 大用ユキ子 6
 8
 9
 10

神奈川県勤労者山岳連盟
 〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階
 発行責任者 後藤 真一 編集責任者 村松 勝
 TEL/FAX 045-434-2726 http://www.k-rouzan.net/

事故のない登山を目指して

2006.05.01 神奈川県連・遭難対策部

今年度より遭対部長を務めさせていただく小田原ナーゲル山の会の鳥越（とりこし）と申します。前部長の大河内女史の後を引き継ぐことになりました。どうぞよろしく願いいたします。まず今期の活動方針をお伝えしますが、新生・遭対部では、救助隊が分離し、純粹に本来の遭難対策活動を行ってまいります。簡潔に言いますと下のようなものです。

遭難対策のテーマ

事故が起きてから対処するのではなく、事故の芽を事前につみとる

- (1) 「なぜ事故は起きるのか？その原因は何か？」を考える
- (2) 過去の事故事例を分析して考察する

すでに分かっているデータの分析結果から下記のようなことが言えると思います。

- (3) 先鋭的な登山よりも、日常的なハイキング・登山での事故が圧倒的に多い
- (4) 下山時の「転倒」「道まよい」が圧倒的に多い
- (5) パーティが分散したり事前調査が不十分などの「心理的な気のゆるみ」が見られる

これらの問題は、ロープや道具を使用した専門的な講習会や、救急法講習会では防げません。それ以前のもっと根本的な問題だからです。焦点を当てるべき対象は、「登山者の心理」といった曖昧なもので、それを目に見える形にするのは難しいことですが、だからこそ「考えること」「イメージすること」が必要だと思っています。

抽象的な話しだけでは具体性に欠けるので、ひとつ例を述べましょう。

事例：岩場へのアプローチでの転倒

2005年4月、小川山、川沿いを歩いていて岩で滑り足を骨折。
(入院9日、通院16日、手術あり)
(JFA(日本フリークライミング協会)「クライミングの事故から身を守るために」より抜粋)

考察

直接的な原因は「川沿いの濡れた岩に足の載せて滑った」ことです。しかし、濡れた岩が滑りやすいこと自体は小学生の高学年になれば知識として体験として分かっていることです。問題は、なぜそれを知っている大人が事故を起こすのか？という点にあると思います。

私は登山者の「心理面」に焦点を当てます。

私にも一つの経験があります。奥秩父のナメラ沢へ友人と入渓して、写真を撮影しながら遡行していると他の2名から遅れてしまい。あわてて追いつこうとしたところ、なんでもな

相模勤労者山岳会 報告 藤田耕市 計40名(男25:女15)

4/1-2 御坂山塊清八峠-黒岳-根場(2)	4/8-9 湯河原・幕岩(4)	4/19 奥多摩天王岩(6)	近畿の山々(1)
4/6-9 河内山塊・栗が岳-矢筈ヶ岳-魚留山(2)	4/9 丹沢三峰・本間沢(3)	4/21-22 精進湖-三方分山-蛾ヶ岳(3)	4/26 第2例会
4/7 畦ヶ丸-屏風岩山-中川温泉(1)	4/11 不老山(3)	4/22-23 長沢背稜・酉谷山-川乗山(3)	5/10 第1例会
4/8-9 天城山(2)	4/12 第1例会	4/23 丹沢・葛葉川(2)	5/21 交流ハイク
	4/14 湯河原・幕岩(2)	4/23-5/8 九州・四国・	5/24 第2例会
	4/16 J-WALL “搬出ト”(5)		5/28 クリーンハイク

みずなら山の会 報告 小川眞澄 計32名(男20名 女12名)平均53歳

久良岐ハイキングクラブ 報告 三上茂 計9名(男5女4)平均58歳

4/9 春の公開ハイク湘南平(5+7)	5/13 室内例会	6/3 室内例会	
	5/28 クリーンハイク	6/11 定例山行	

さがみ山友会 18名

こまくさハイキングクラブ 報告 山田日出子 計15名(男4:女11)平均63歳

横浜山楽会 報告、菅野藤雄 計24名(男13 女11)平均61歳

3/2 例会	ため中止	4/9 ミツバ岳	5/14 定例山行 塔ノ岳
3/5 広沢寺岩場清掃集会(2)	3/19 生藤山(10)	4/15 例会山行 塔ノ岳	5/21 扇山
3/11 月例山行塔ノ岳(5)	4/2 18年度総会神奈川サ	4/16 兜山	5/28 岩山クリーンハイク丹沢
3/18-19 平栗山悪天候の	ポートセンター(27)	4/20-23 善光寺西街道	
	4/6-9 善光寺街道	5/9 例会サポートセンター	

カモの会 計73名(男43 女30)平均34.5歳

白嶺岳和会 11名

雪童山の会 計20名(男 女)平均 歳

地平線の会 8名

裏山探検隊 9名

やま++ 報告 柴田勇作 計12名(男8:女4)平均46歳

4/1-2 新潟・角田山花観察ハイク(6+2)	沢山の会)	(2)	大常木山マイナー
4/3 鈴鹿・藤原岳(1+1)	4/16 総会・溝口大山ふるさと館(10)	4/26 例会(11)	5/10 勉強会13RT C
4/12 勉強会(自然保護)百合丘(11)	4/22 御前山シダラク尾根(4)	4/29 横尾山	5/14 読図実技山行
4/15 高尾山花観察(3+藤	4/23 山スキー・乗鞍岳	4/30 鍋割山	5/24 例会
		5/3-5 蓮華温泉山スキー	5/25 乾徳山
		5/3-5 奥秩父・和名倉山	5/28 クリーンハイク

事務局長会議報告 4月11日

出席会
川崎登山、川崎HC、川崎柴笛、AC横浜、横浜HC、横浜こぶし、横浜わらび、小田原ナーゲル、相模登山、みずなら、久良岐HC、こまくさHC、横浜山楽会、カモの会、裏山探検隊、やま++
以上17会

6/25実技。
海外登山、トレッキングの計画書は全国登山、県連に提出することをお願い。
山スキー関連の事故が急増している。山スキーのヒヤリハット

活動報告
横浜こぶしでは丹沢大倉尾根の登りのタイムを各自計測する体力測定を行う。

県連からの報告：
リーダー学校募集。現在受講予定者25名。講師の派遣を各会に依頼。
遭対部主催の読図講習会のお知らせ。6/24机上、

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

川崎勤労者山岳会 報告：佐々木利江 計55名(男33 女22)平均 歳			
4/2 鷹取山・岩ト(5)	4/9 F C・湯河原・幕岩(6)	4/28-5/1 山スキー・蓮華温泉・雪倉山(3)	5/17 登)机上・沢登り
4/8 鷹取山・岩ト(8)		その他3つの山行	5/21 総会議案討議
4/7-9 山スキー・黒姫山(5)	4/15 F C・城が崎(3)	5/10 運営委員会	5/30 機関誌編集・印刷
	4/23 富士山・雪ト(7)		5/31 例会
川崎ハイキングクラブ 報告 樋渡輝彦 計112名(男51 女61) 平均57歳			
3/18 塔ノ峰(4)	4/9 棒ノ折山(11)	5/3-5 唐松岳	5/20-21 茅ヶ岳
3/22 例会(43)	4/12 運営委員会	5/7 伊豆ヶ岳(定例山行)	5/24 例会
3/26 お坊山・大鹿山(8)	4/16 破風山	5/8 新人教育(机上学習)	5/27 クリーンハイク水質検査
3/26 三子山(19)	4/16 鍋割山	5/10 運営委員会	
3/29 三国山(8)	4/21 釜伏山-二本木峠	5/13 湯坂道	5/28 クリーンハイク
4/2 大和の千本桜(23)	4/22-23 天城山	5/14 天狗岳(新人教育実技)	5/30-31 恵那山
4/8-9 谷川岳(雪上トレ)(9)	4/23 小倉山	5/14 馬頭刈山	
4/9 塔ノ岳(7)	4/26 例会	5/20-21 切込湖・茹込湖	
4/29-30 小金沢連嶺			
川崎柴笛クラブ 計23名(男15 女8) 平均48歳			
アルパインクラブ横浜 計42名(男23:女19)平均37.4歳			
横浜ハイキングクラブ 報告 白鳥松男 計55名(男19:女36)平均59歳			
3/9 室内例会	4/8 新治市民の森(18)	5/3-4 七面山	5/28 丹沢クリーンハイク
3/19 鍋割山(12)	4/16 相模湖-石老山(雨天中止)	5/7 岩殿山	5/31 大菩薩峠
3/21 戸倉三山(5)		5/11 例会	
4/1 大磯・高麗山(11)	4/15 室内例会	5/13 高倉山	
4/2 鷹取山・岩ト(雨天中止)	4/23 餅つき山行 景信山	5/14 小沢岳(西上州)	
	4/29 滝子山	5/23 畦ヶ丸(西丹沢)	
横浜こぶしの会 報告 田辺美由紀 計25名(男16人 女9人) 平均49歳			
4/14-15 佐渡(4)	4/29 高松山(2+6)	(2)	5/22 岩トレ
4/22-23 志賀洪峠山スキー(2)	4/29 岩茸石山(2+1+1)	5/6 箱根ハイキング	6月 会低山1回実施予定
	5/3 鎌倉アルプス(1+4)	5/3-5 丹沢山檜洞丸(1)	沢トレ1回実施予定
4/23 大霧山(5)	5/3-5/6 鳥海山山スキー	5/28 クリンハイク	
横浜わらび山の会 報告：初山輝夫 計18名(男6 女12)			
4/2 総会	4/14 生藤山(1)	5/14 二子山森戸川	尾瀬ヶ原
4/3-5 上高地 戸隠高原(1)	4/15 子持山(3)	5/21 交流ハイク	6/11 棒ノ折山
	4/22 矢倉岳(1)	5/21 朝日山・菜畑山	6/18 大野山
4/6 御殿山(6)	4/22 矢平山(4)	5/27 定例会	6/24 定例会
4/8 衣張山(7)	4/22 定例会	5/28 丹沢クリーンハイク	6/25 富士見塚
4/9 扇山(9)	4/29 滝子山(1)		
4/9 日向山(2)	4/30 御正体山(9)	6/3-5 子持山・稲包山・	
横須賀むすび山の会 報告 計 3名(男:女)			
藤沢山の会 報告 清水 守 計93名(男42:女51)平均60歳			
4/1 屏風岩山(4)	4/15-16 蔵王山(5)	他20山行	5/6 節刀ヶ岳
4/8 権現山(11)/青梅丘陵(6)	4/22 テンプラ山行・森戸川(24)	5/3-4 日光白根山	5/20-21 ビパーク山行
		5/2-5 西穂高岳	6/10 岩登り実技山行
4/9 松田山(10)	4/23 25回定期総会(60)	5/3-5 鳳凰三山	6/11 花観察会
小田原ナーゲル 報告 春日谷 40名			
こだまの会 4名			
緑と星スキー山の会 2名			

いナメの途中でスリップして顔面側頭部をナメ滝の岩に強打して出血してしまったのです。

ここで重要なことは、直接的、技術的な問題ではなく、「メンバーに追いつこうとして焦っていた」という心理状態に私が陥っていたことです。

前記の事例の場合でも、報告されたことは「川沿いで転倒」という事実のみですが、その背後に、登山者のそのような心理状態があったのではないかと考えることができますし、また、そう考えて自分の登山に活用することが大切です。

訴えたいことは、「世の中の事故の大半は、直接的な原因の背後に、心理的な要因が潜んでいる」ということです。

対処方法

では、そのような事故を防ぐために、リーダーおよびメンバーが考慮すべきことはなんでしょうか？ 上記の事例だと次のような対処法が考えられます。(対処法というよりは「心構え」と言った方が良くも知れませんが)

- (1) メンバーはパーティから遅れても、慌てない。また、そのような「自分自身の心理状態を察知したら、今自分は危険な心理状態に陥っていることを認識する」ということ。
- (2) リーダーはパーティ全体の状態を把握する。とくに「目に見える現象だけでなく、メンバーの心理状態など、見えない部分にまで気を配る」ことが大切です。
- (3) 自分が置かれている環境を常に意識する。尾根なのか？ 森なのか？ 沢なのか？ 装備の重量は？ それらによって、行動するパターンが変わってきます。仲間とリラックスしておしゃべりしながら歩くのも楽しいことですが、そのまま漫然と徒渉したら危険なことは明らかです。リラックスする時と緊張する時を意識して登山にメリハリを持たせましょう。

今後の遭対部では、このような登山に関わるごく基本的なこと、「日常の健康管理」「体力トレーニング」「登山者の心理」「リーダー論」「歩行姿勢」「読図」「気象の知識」などの課題に取り組むつもりです。

ロープや道具を使った目に見える具体的な講習会と違って地味な内容になるかも知れませんが、しかしこれらのことを意識することはとても大切なことです。

もちろん起こりうる事故の全てを100%防ぐことはできません。しかしそれを限りなく近づけてゆこうと努力することは大切なことです。登山者の一人一人が日々「考える登山」を実践し「危機管理能力(リスク・マネジメント)」の能力をアップさせてゆくことが大切です。そしてそれは普段の日常生活の向上にも役立ちますし、大きく言えば、人生そのものを豊かにすることにつながるはずで。

みなさまの登山ライフのますますの充実をお祈りしております。

以上

神奈川県勤労者山岳連盟組織

	(構成)	(会合)	(主な業務)
総会	理事と各会の代議員	2年に1回3月	
理事会	理事	年2回9月3月	
常任理事会	常任理事	毎月第1月曜	県連運営の全般
事務局	理事	毎月第3月曜	事務局長会議開催、 連盟ニュース発行、財政
遭対部	理事、部員	毎月第2月曜	遭難対策
救助隊	理事、隊員	毎月第1火曜	救助隊運営
教育部	理事、講師		リーダー養成学校運営
ハイキング委員会	理事及び委員		ハイキングリーダー学校の 運営
自然保護委員会	理事及び委員	毎月最終月曜	自然保護関係、クリーンハ イク
(事務局長会議 各会の事務局長		毎月第2火曜)	

常任	役職	氏名	会名	
	会長	渡辺 三男	相模勤労者山岳会	
	理事長	後藤 真一	カモの会	
	副理事長	磯部 津輝子	地平線の会	
	副理事長	遭対部長	鳥越 章夫	小田原ナーゲル山の会
	救助隊長	救助隊	熊谷 修治	アルパインクラブ横浜
	事務局長	村松 勝	川崎勤労者山岳会	
		財政	押本 光子	川崎ハイキングクラブ
	委員長	ハイキング	増田 徹	横浜こぶしの会
		組織	小竹 清子	川崎勤労者山岳会
	委員長	自然保護	吉岡 広明	地平線の会
			中山 建生	みずなら山の会
			加藤 正敏	藤沢山の会
			高橋 勇三	藤沢山の会
			小野 郁生	アルパインクラブ横浜
			馬淵 正	相模勤労者山岳会
			田村 和寿	相模勤労者山岳会
			樺島 正道	こだまの会
			三上 茂	久良岐ハイキングクラブ
			伊藤 金吾	横浜山楽会
			青木 武志	雪童山の会
			小林 悦治	川崎ハイキングクラブ
			田草川 英明	カモの会
			宮沢 春美	裏山探検隊
			初山 輝夫	横浜わらび山の会
			小野寺 英夫	川崎ハイキングクラブ
			大澤 正哉	川崎柴笛クラブ
	会計監査		西川 憲男	横浜ハイキングクラブ
	会計監査		蝦名 政次	相模勤労者山岳会

詳細決定！ 道迷い遭難を防ぐ講習会

～ 私は何処？ どっちへ行くべき？ 道迷いを防ぐ講習会～



主宰：神奈川県勤労者山岳連盟 遭難対策部
4月の県連ニュースでお知らせした道迷いを防ぐ講習会（読図講習会）の詳細が決定いたしましたので、お知らせします。

地図の見方、読み方の机上講習を行い、実際に歩きながら身につけていきたいと考えています。是非多数ご参加ください。

読図机上講習

日程：2006年6月24日（土）午前10時～午後4時
場所：横浜市神奈川地区センター（JR東神奈川駅・京急仲木戸駅徒歩5分）
横浜市神奈川区本町8-1（電話045-453-7350）
持ち物：2万5線分の1地図（大山）、登山地図、コンパス（シルバタイプ）、
定規（50cm程度のもの）、蛍光ペンまたは色鉛筆（6色以上）、筆記具
参加費：1000円（労山以外の人2000円）

読図実技

日程：2006年6月25日（日）
集合時間：午前8時
集合場所：小田急秦野駅改札口（バスでヤビツ峠まで移動）
秦野駅～ヤビツ峠～三ノ塔
持ち物：日帰りハイクの装備・2万5線分の1地図（大山）、登山地図、コンパス（シルバタイプ）
参加費：2000円（労山以外の人3000円）
雨天時：順延7月9日（日）（前日午後7時天気予報降水確率50%以上の場合）
問い合わせは、
横浜わらび山の会・黒川（TEL, FAX045-231-9832・
携帯090-4097-8060）
アルパインクラブ横浜・末吉（携帯090-7839-9257）まで

申し込み方法

期限：6月15日
電話・ファックスでのお申し込みは、
横浜わらび山の会・黒川（TEL, FAX045-231-9832）
メールでのお申し込みは、
アルパインクラブ横浜・末吉（メールアドレス e_sueyoshi@ybb.ne.jp）

*申し込み時に下記の記載をお願いします。

- 会名、お名前、住所、連絡先、メールアドレス、
- (1) なにを目的として講習会に参加したのか、
- (2) 自分の知らないこと分らないことはなにか
- (3) 講習会に期待することはなにか

労山ホームページにも掲載しています。

みなさんどうぞお楽しみに！



2006丹沢クリーンハイク

エコ丹沢 ともに生きるために

神奈川県勤労者山岳連盟は「すべての登山愛好者が気軽に入会でき、楽しく安全に登山できる山岳会を」と結成してから30余年が過ぎました。その活動の中で、「自然を大切に、山からゴミをなくそう」と、1978年から丹沢の清掃登山（クリーンハイク）を始めました。昨年までに総量14トンを超すゴミ回収を行っています。今年も、表丹沢のクリーンハイクのほかに、大倉尾根登山道整備、丹沢の沢と水場の水質検査を行います。神奈川県を代表する山・丹沢の自然にふれ、山を歩きながら、一緒にきれいにしませんか？（山岳会のメンバーと行動を共にして頂きます）

2006年5月28日（日）

《集合場所・時間》

大倉本部受付：大倉バス停 ビジターセンター前 8：00（受付開始）

* 集合場所への行き方 小田急線渋沢駅北口より「大倉行」終点下車（約20分）

ヤビツ峠受付：ヤビツ峠バス停 9：00（受付開始）

《日程》

開会式 8：30 コース担当山岳会と共に出発。下山後ゴミの計量。

閉会式 15：30

《持ち物、服装》

お弁当・水筒（飲み物）・雨具・リュック・ハイキングシューズ
（軍手・ゴミ袋は支給します）

《雨天の場合》

前日18：53～NHKニュース気象情報（神奈川県西部）降水確率50%以上の場合中止

【前日問い合わせ先】 クリーンハイク事務局 三上 045-891-6496

《申し込み概要》裏面の参加申込書を送付下さい。締切 5月21日（日）必着

《申し込み方法》

郵送、FAX、Eメールにて受け付けます。上記の内容を記入し下記宛に送付下さい。

郵送・FAX

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2永田ビル3F

神奈川県勤労者山岳連盟 クリーンハイク担当宛 TEL&FAX 045-434-2726

Eメール cleanhi ke2006@k-rouzan.net

清掃整備コース一覧 A B C D E F の各コースは一般参加者を受け入れます

	コース	参加会名
A	戸川林道(林道とキャンプ場周辺)	
B	大倉高原(大倉～大倉高原山の家まで)	横浜HC こまくさ わらび
C	大倉尾根～堀山まで	川崎HC
D	大倉尾根・花立(堀山～花立まで)	こぶしの会
E	大倉尾根・塔ノ岳(花立～塔ノ岳)	川崎労山
F	表丹沢県民の森(林道と県民の森周辺)	久良岐HC 藤沢山の会
G	表尾根 ニノ塔(ヤビツ峠～ニノ塔周辺)	山楽会
H	表尾根 三ノ塔(ニノ塔～三ノ塔周辺)	川崎HC 緑星
I	丹沢山(塔ノ岳～丹沢山まで)	AC横浜 みずなら山の会 相模労山
J	鍋割山(後沢乗越～鍋割山まで)	やま++ かも会の会
K	登山道整備(県主催)	各会から2名位で定員20名で締め切る

クリーンハイク第4回実行委員会

2006/4/24(月) 記録(大用)

出席者

藤沢山の会(高橋 萩原) 地平線の会(磯部 石田 吉岡) みずなら山の会(金森) 雪童(高橋) アルパインクラブ横浜(大日方) 久良岐HC(三上) 横浜HC(中尾 安田) 川崎労山(吉村 矢萩) 川崎HC(当山 大用) 横浜こぶしの会(田辺) やま++(栗田) 緑星(北野) 12会18名

1. コース参加の申し込みとリーダー名、無線所有名の連絡先ほぼ確定(別紙参照)

クリーンハイク参加コース一覧表

	コース	参加会名
A	戸川林道(林道とキャンプ場周辺)	
B	大倉高原(大倉～大倉高原山の家まで)	横浜HC こまくさ わらび
C	大倉尾根～堀山まで	川崎HC
D	大倉尾根 花立(堀山～花立まで)	こぶしの会
E	大倉尾根 塔ノ岳(花立～塔ノ岳)	川崎労山
F	表丹沢県民の森(林道と県民の森周辺)	久良岐HC 藤沢山の会
G	表尾根 二ノ塔(ヤビツ峠～二ノ塔周辺)	山楽会
H	表尾根 三ノ塔(二ノ塔～三ノ塔周辺)	川崎HC 緑星
I	丹沢山(塔ノ岳～丹沢山まで)	AC横浜 みずなら山の会 相模労山
J	鍋割山(後沢乗越～鍋割山まで)	やま++ かも会の会
K	登山道整備(県主催)	各会から2名位で定員20名で締め切る

各会参加コースのリーダーと無線機所有者未だの会は早めに連絡(磯部まで)

2. 討議事項

Aコース申し込み今のところ無し、その後も申し込み無い場合はBコースの多数の為、該当の会に移動お願いする(三上)

実行委員会に出していない会で申し込み未だの会は、組織部と連絡をとって参加要請をする(三上)

一般参加者は、現在申し込み7名と少ない 締め切りは4/30だが延長し、受付時に自己責任の説明をし、確認とれば、当日でも可とする。ただし保険加入は一週間前までの申込者となる

クリーンハイクコースの山小屋への挨拶と下見は4/30実施(見晴らし小屋で前夜泊)

Fコースの林道ゴミ状況写真と報告は、ふじさわ山の会がゴミを拾いながら行う(林道まで)

Aコースは矢萩が行う(川崎労山)

5/27丹沢水質調査担当会決定 計画書まだの会は小林(地平線)に連絡する

鍋割山の清掃については、鍋割山小屋の主人と打ち合わせをする

救助体制について、秦野警察に行きクリーンハイク実施についての一報をする(吉岡実行委員長)

看護師対策は、アルパインクラブと川崎ハイキングクラブより2名確保する

次回実行委員会5/15